



## Topic

第54期を迎えました  
ごあいさつ  
PFASは逆浸透膜で92~99%除去可能!  
ZEOLITENEWS  
水ひと筋に生きる  
季節を愉しむ

## NEWS 01

### 特許取得のお知らせ

ゼオライト株式会社は特許を取得いたしました。

- 特許番号：第7297312号
- 特許登録日：2023年6月16日
- 発明の名称：浴場排水浄化装置
- 特許権者：ゼオライト株式会社



▲概要はこちらをご覧ください

## NEWS 02

### ベトナムにおける水・環境分野 国際展示会へ福岡市と共同出展

2023年10月11日(水)~13日(金)、ベトナム・ホーチミン市において開催される水に関する展示会「ベトウォーター」および同一会場・同時開催の廃棄物と環境技術に関する展示会「WETV EXCO」へ福岡市と共同出展いたします。福岡発の水処理企業として世界の水問題に取り組んでまいります。



▲WEBサイト

## Seasons 季節を愉しむ



### シュウメイギク

【花言葉】 薄れゆく愛 忍耐

秋の訪れを感じる可憐な秋明菊。楚々とした佇まいで茶室に活ける茶花としても人気です。花名の秋明菊(シュウメイギク)は、秋にキク似た明るい花を咲かせることにちなんで名付けられました。実際にキク科ではなく、キンポウゲ科の植物です。特に京都市北部の貴船に多く見られることから貴船菊(キブネギク)の別名もあります。シュウメイギクはアネモネの仲間で、中国が原産で日本へは古い時代に渡来し、各地に帰化しています。英語では「Japanese anemone(日本のアネモネ)」と呼ばれています。白やピンクなどの花びらに見えるものは萼片(がくへん)で、仲間のアネモネと同様に花びらはありません。可憐な雰囲気だけでなく、動きのある茎の先についた真ん丸のつぼみも可愛いお花です。お花が散った後も程度膨らんだつぼみが咲いてくれるので、しっかりお手入れして、そのつぼみが開いてくれるのも鑑賞して楽しみたいですね。

写真・文 / TRONC (トロンク)  
福岡市南区那の川2-4-32 HF平尾レジデンス1F  
TEL&FAX 092-791-5571 MAIL info@tronc-f.com  
Instagram @troncflower

## 水ひと筋に 生きる

弊社創業者 故 河村恭輔が  
平成30年に出版した  
著書「水ひと筋に生きる」  
より一節をご紹介します。

◎水処理の基礎を学び、水のありがたみを知った商船学校時代  
中学卒業後、昭和25年4月、私は大島商船学校機関科に入りました。私は物理化学が好きで、機関科での勉強が面白くて仕方なかった。特にボイラーについて興味をもった。ボイラーは燃料を燃やして水を蒸気にするものだが、これは水処理の基本である。それを17歳の時に学べたことは、その後の私の人生を左右する大きな経験となった。  
同時にこの時代には、水のありがたみというものを知った。学校は島にあり、上下水道はなく、井戸を掘って水を汲んでいた。大変だったのは風呂の水汲みで、これは二年生の仕事だった。二百人ぐらゐが入る大浴場に2トンぐらいの水を井戸から汲み上げていれるのである。これを週に二、三回、釣瓶を使って汲み上げた井戸水を二年生全員がバケツリレーの要領で浴場まで運ぶ。一回につき2時間ほどかかる大仕事であった。井戸から水を汲み上げるポンプ給水設備がまだない時代であり、現在ではほとんど考えられないような生活だったが、これも今の仕事につながっている。  
井戸から水を汲み上げるための給水設備を設置し、きれいな水になるようにろ過装置を設置するのがわが社の仕事である。これは商船学校時代にやっていたことの延長線上にある。そう考えると、この時代に水で苦労したことも、すべて実になっている。

# ゼオライトは第54期を迎えました

ゼオライト株式会社は、1970年の設立より54年を迎えました。

7月29日(土)には社員が一同に会し、経営計画発表会を開催しました。

今期の経営方針を共有し懇親会では久しぶりの再会に交流を深めるとともに、社員表彰などで日頃の労をねぎらいました。

54期も水の仕事を通してお客様に喜んでいただき社会に貢献できるよう、社員一丸となって業務に邁進してまいります。



54期方針発表



懇親会



ごあいさつ

代表取締役社長 嶋村 謙志

おかげ様をもちまして、私たちゼオライト株式会社は第54期を迎えることができました。これもひとえにお客様をはじめ、地域の皆様、お取引先各位、協力会社の方々、皆様のご指導・ご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。

今年の経営計画発表会は、創業者夫妻の他界後、初めて迎えた発表会となり、寂しさを感じるとともに、一致団結して前に進まなければと改めて覚悟をもった大変感慨深いものとなりました。

創業者がなによりも大切にしていた「お客様第一主義」そして「水を通して喜んでいただける仕事をする」という志を末永く大切に引き継いでいくことを社員全員で再確認するとともに、社員みな主役となってこれからのゼオライトを築き上げていこうと、気持ちをひとつにしました。

これまで以上にお客様から必要とされる企業となれるように、努力精進して参ります。安全・安心はもとより、よりご満足いただける質の高い仕事を目指し、技術力の向上と人材育成に取り組みまいりますので、これからも末永くゼオライト株式会社をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



## PFAS (ピーファス)は逆浸透膜 (RO膜) で 92~99%除去可能!

昨今、新聞やテレビで報道されている「PFAS (ピーファス)」をご存知でしょうか。

PFASとは4730種を超える有機フッ素化合物の総称。PFASのうち「PFOS」と「PFOA」は、水や油をはじき、熱に対し安定的な特性があることから、消火剤やフライパンのコーティング剤などに使われてきました。しかしながら、自然界で分解しにくく水などに蓄積することがわかったほか、人への毒性も指摘され国際的に規制されるようになりました。

日本でも2021年までに法令で製造と輸入を原則禁止し、2020年4月には厚生労働省において水道水の「水質管理目標設定項目」として暫定目標値「50ng/L (PFOSとPFOAの合計値) 以下」が設定されました。

2021年度に実施した河川や地下水の調査では、31都道府県のうち13都府県81地点で暫定的な目標値を上回る高い濃度が検出されたほか、米軍基地や工場周辺でも検出が続いており、社会問題となっています。

厚生労働省の見解によると、水に含まれるPFASを効果的に除去するには、弊社の得意分野である「逆浸透膜」であればPFOSで99%以上、PFOAは92~97%除去可能であるとの研究結果が発表されており、効果的にPFASを除去するためには最適だとされています。これを受けて、弊社の逆浸透膜プラントにて除去テストを実施し、PFOS及びPFOAが5ng/L未満 (暫定目標値の1/10未満) に除去できたことを第三者分析機関にて確認しました。

	地下水	RO処理水
PFOA	26ng/L	5ng/L未満※
PFOS	210ng/L	5ng/L未満※
PFOS及びPFOA	240ng/L	5ng/L未満※

※定量下限値が5ng/Lであるため、このような表記となっています。

RO膜で浄水

暫定目標値の1/10未満!



PFASについて詳細はこちら。ゼオライト(株)水処理コラム